

資 料

2. 居室の状況

居室形態	個室	2人部屋	3人部屋	4人部屋	5人部屋	6～8人	9～10人	11人以上
居室の数	室	室	室	室	室	室	室	室
1居室の面積	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²

※居室の定員は、届出による居室定員数により判断し、実際の利用数によらないで記入下さい。

※居室の面積は、同一形態で面積の相違がある場合、一番狭い面積を記入して下さい。

(1) 居室のみの総面積 m² ÷ 定員(人) = 一人当たり面積() m²

(2) 一人当たりの居室面積の基準が改定(3.3 m² → 4.95m²) されましたが、現在の居室面積で新基準を満たしていますか。※2人部屋は 9.9 m²、3人部屋は 14.85m²、4人部屋は 19.8m²以上で計算して下さい。

☐ a. 満たしている

☐ b. 満たしていない ⇒ 満たそうすると、居室定員で[]名分 減少となる。

3. 施設建物の形態及び生活支援体制について伺います。

(1) 居住棟は、総棟数 棟 (管理棟や作業棟等は除く)

※渡り廊下等で建物と建物がつながっている場合、その建物の生活機能として独立している場合は別棟として下さい。

(2) 昭和 39年重度棟の指定を受けた居住棟が

☐ a. ない ☐ b. ある

(3) 居住棟の建築総面積は、 m²

(4) 施設の形態は

☐ a. 小舎 ☐ b. 中舎 ☐ c. 大舎 である

次の定義により判断し、選択してください。複数の居住棟がある場合には複数回答可

【用語の定義】－大舎・中舎・小舎－

大舎(制) 1 舎おおむね **20人以上**で、大きな建物の中に全員が使う食堂や風呂があり、日常生活を送る上で大きな集団を基準とした形態

中舎(制) 1 舎おおむね **13～19人**で大舎制の集団養護と小舎制の個別養護の両方が可能な形態。

小舎(制) 1 舎おおむね **12人まで**で、同一敷地内に独立した建物(アパート・マンションタイプで居住が独立しているものも含む)でより家庭に近い小集団で子どもが暮らす形態

(5) 生活単位の小規模化の実施状況

次の a～e より該当を一つ選択してください。 ※複数の居住棟がある場合には複数回答可

【用語の定義】－生活単位・生活単位の小規模化－

生活単位 入所児と固定された(同一勤務割り単位等の)スタッフを中心に、衣食住など基本的な生活が営まれる基礎グループ。

生活単位の小規模化

12名以下の生活単位等 がある場合を指し、各生活単位ごとに生活するうえで必要な設備・備品を揃えて生活すること。

☐ a. 施設の改築等により施設全体を小舎制単位の建物構成とした

その場合、1生活単位[]名で、[]寮・棟の構成になっている。

⇒ 4～11、12・13・14へ

☐ b. 大舎または中舎である本体施設の一部を小舎制にして「生活単位の小規模化」をはかった。

その場合、施設の全体定員[]名のうち[]名が小舎制で生活している。

⇒ 4～11、12・13・14へ

☐ c. 大舎または中舎である本体施設をユニット化して「生活単位の小規模化」をはかった。

その場合、階ごとやフロアで仕切るなどして、[]箇所計[]名が生活している。

⇒ 4～11、12・13・14へ

☐ d. 本体施設の敷地外で法人・施設独自の取り組みにより「生活単位の小規模化」を実施している。

その場合、生活単位[] 寮(箇所)、[] 名が生活している。

⇒ 4～11、12・13・14へ

☐ e. 上記の a から d の「生活単位の小規模化」は実施していない。

その場合、今後の予定として

☐ i 生活単位の小規模化についての検討・準備段階である。

⇒ 4～11、12・13・14へ

☐ ii 大舎制から中舎制にしてきたが、まだ「生活単位の小規模化」は実現していない。

⇒ 12・13・14へ

☐ iii 今のところ「生活単位の小規模化」への取り組みは計画していない。

⇒ 12・13・14へ

以下の **4～11の項目**は、「生活単位の小規模化」を実施している施設、及び 計画している施設 ((5) e の i を選択した施設) が対象となります。小規模化の実施・計画のない施設(計画検討段階で回答できない場合も含む)の方は、**項目 12**以降へお進みください。

4 「生活単位の小規模化」の実施単位数

[] 単位 (箇所) 合計[] 人

なお、実施類型が複数ある場合には、別紙をコピーしてご回答ください。

①当該グループ(ホーム)の生活単位の小規模化の開始時期	平成	年	月
②当該グループの児童定員	[]名	当該グループの現員	男[]名 女[]名
③当該グループの児童年齢の内訳	幼児[]名 高校[]名	小学[]名 高校卒業生[]名	中学[]名
④当該グループの担当職員	合計[]名	内訳	男性[]名 女性[]名
⑤勤務の形態(該当すべてに○印を)	形態 夜間	通勤 夜勤	住み込み 宿直
⑥朝・夕の時間帯の勤務数	朝(7:00～9:00)[]名	夕(17:00～22:00)[]名	
⑦他のグループ担当との兼務	あり・なし	⑧他のグループ担当からの応援	あり・なし
⑧建物の形態	1.大舎内ユニット型 4.二つのホームで1セット	2.一戸建て 5.その他	3.集合住宅
⑨建物所有の状況	1.法人所有	2.賃貸(その場合家賃は月額	円)
⑩敷地	1.本体施設と同一敷地	2.本体施設と別敷地	
⑪当該グループの対象エリアの面積	約	m ²	
⑫調理	1.グループで調理	2.本体施設の厨房	3.両方で
⑬食事	1.グループで	2.本体施設の食堂	3.両方で
⑭入浴	1.グループで	2.本体施設の浴室	3.両方で
⑮生活用品の購入	1.グループで購入	2.本体施設で一括購入	3.両方で
⑯居室	個室[]室	2人部屋[]室	その他 []室

[illegible][illegible][illegible]

回答欄				
-----	--	--	--	--

- ① 児童養護施設における地域小規模児童養護施設を障害児施設においても制度化する
- ② 児童養護施設等における小規模グループケアの加算制度を障害児施設も対象とする
- ③ 自活訓練事業の対象とする児童やその期間の拡大を図る。
- ④ 施設定員の分割化
- ⑤ 施設整備費の確保
- ⑥ 土地家屋の取得費の補助
- ⑦ 夜間時間帯における複数職員の配置確保
- ⑧ 職員配置基準の改善・職員の増員
- ⑨ スーパーバイザーの設置
- ⑩ 養育実践の知識・技能・ノウハウの共有化
- ⑪ 体系的・継続的な職員研修の実施による職員の資質向上
- ⑫ その他

回答欄 ☐

- ① もともと施設設立当時から、生活単位の小規模化が行われていた。
- ② 法人理事長や理事会、施設長の養育方針・考え方から
- ③ 職員間における、養育の方針・考え方から
- ④ 児童養護施設等における小規模化の制度化から
- ⑤ 都道府県等単独補助事業による生活単位の小規模化から
- ⑥ その他

回答欄

- ① 職員による子どもへの個別的なかわりが増えた
- ② 安定した環境(子ども対子ども、子ども対職員)のもとで子どもを養育できるようになった
- ③ 家庭的な環境に近いなかで子どもを養育できるようになった
- ④ 職員と子どもとの信頼関係の構築がはかれるようになった
- ⑤ 個室の確保など、子どもの生活環境・プライバシーの向上が図られた
- ⑥ 子ども同士がお互いに思いやり助け合うようになった
- ⑦ 子ども自身が、自分で考えて行動することができるようになった
- ⑧ 子どもが日常的に手伝いをするようになった(炊事・掃除・洗濯など)
- ⑨ 子どもの自立に向けた生活力の向上がはかれるようになった(家事等を身近で体験したり、生活体験を身近で行うことができる等)
- ⑩ 施設退所後も、子どもとのかかわりが保ちやすくなった
- ⑪ 子どもの緊張・不安が緩和され自分の考えを伝えたり、行動で示すことが多くなった
- ⑫ 儀式的な行動、こだわり行動、自傷行為等行動面の改善がみられる
- ⑬ その他

- 9 「生活単位の小規模化」を進めたことにより、それ以前と比べて現れた職員の課題について貴施設において課題となったことについて下記の選択群から3つ選んで下さい。

回答欄 ☐ ☐ ☐

9－選択群

- ① 職員一人ひとりの資質・経験の違いによる養育の差が生じやすくなった
- ② 問題が発生したとき、当該ケア単位(ユニット)の職員が抱え込んでしまう
- ③ 本園を含めた施設全体の職員の情報交換、コミュニケーションが取りづらくなった
- ④ 職員の勤務体制、ローテーションを組むのが難しくなった
- ⑤ 労働基準法を超える勤務が発生した
- ⑥ 職員がかかえる子どもの課題が表出し、職員が精神的に疲労する
- ⑦ 職員が一人で子どもを養育する時間が長くなった
- ⑧ 資質向上をはかるための研修に、職員を参加させることが難しくなった
- ⑨ その他

- 10 貴施設で「生活単位の小規模化」を進める際の、児童の編成・構成についての考えをお聞かせ下さい。

- (1) 性別について ⇒ ☐ a. 男女別を基本 ☐ b. 男女混合を基本
 (2) 年齢別について ⇒ ☐ a. 同一年齢を基本とした横割り ☐ b. 年齢は縦割りを基本
 (3) 障害について ⇒ ☐ a. 同じような障害の程度を基本 ☐ b. 障害の程度にかかわらず

自由記述

- 11 貴施設の「生活単位の小規模化」における下記の点についてご回答ください。

- (1) 「生活単位を小規模化」した生活単位の数は、全部で[]単位で、その児童総数[]人、その生活単位の直接支援する職員数[]人
 (2) 「生活単位を小規模化」・小舎にした場合、その生活空間が密室化しやすいとの意見もあり、児童の生活の適正化や権利擁護にどのように取り組んでいますか。
 a. 第三者委員制度等により施設職員以外の方が定期的に訪問し、児童の意見を聴取している
 b. 所属の担当職員以外の職員が、定期的に評価する等の配慮をしている
 c. 職員間の研修やケース検討の機会を多くして管理職等のスーパーバイズを定期的に行っている
 d. その他

具体的に取り組んでいること

- (3) 「生活単位の小規模化」を実施して子どもの暮らしが変化し、子どもが成長したと感じられることがあったらお知らせ下さい。

- (4) 平成22年度決算の施設会計の総収入額は [, 円]

- (5) 「生活単位を小規模化」した場合の施設運営や職員確保等についてご意見をお書き下さい。

自由記述 (○地域との関係 ○職員増等による財政的課題 ○職員の確保 ○その他)

以下の設問(12、13、14)にはすべての施設がご回答ください。

- 12 「生活単位の小規模化」が進まない理由、取り組めない理由は何だと思えますか。次の選択群から5つ選んで下さい。

回答欄 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

12－選択群

- ① 現在の配置基準では、職員が足りないから
- ② 生活単位を小規模化すると、職員の労働が過重になる。または、労働基準を守れないから
- ③ 生活単位を小規模化するための施設整備が困難だから
- ④ 生活単位を小規模化するための敷地がないから
- ⑤ 生活単位を小規模化するための財源がないから
- ⑥ 生活単位を小規模化するメリットを感じないから
- ⑦ 生活単位を小規模化していくノウハウが分からないから
- ⑧ 生活単位を小規模化した後、子どもの養育に不安を感じるから
- ⑨ 生活単位を小規模化したユニット(ホーム)に入居させる児童の人数が難しいから
- ⑩ 生活単位を小規模化したユニット(ホーム)に住む子どもと本体施設の部屋に住む子どもの格差が気になるから
- ⑪ 生活単位を小規模化したユニット(ホーム)の担当をする職員の人選が難しい(またはやり手がいない)から
- ⑫ 通勤制や勤務時間など、生活単位を小規模化するための勤務体制の変更が困難だから
- ⑬ 生活単位を小規模化したユニット(ホーム)を担う、職員の人材育成が難しいから
- ⑭ 養育方針として、生活単位の小規模化への考え方の違いがあるから
- ⑮ 施設運営の方針から、生活単位の小規模化に対する考え方の違いから
- ⑯ その他

13 今後の計画等について

(1) 今後の施設整備の計画について

- ☐ a. 施設の老朽化のため改築を申請・予定している。 → 平成[]年度事業計画
☐ b. 大規模修繕により整備を申請・予定している。 → 平成[]年度事業計画
☐ c. 施設整備は行わない
→ ☐ i. 既に施設整備済み []年度 ☐ ii. 築年数から必要がない

(2) 在所延長規定の廃止に伴う今後の計画について

- ☐ a. 児童施設として維持する ☐ b. 成人施設にすべて転換 ☐ c. 成人施設を併設する

(3) 今後も児童施設として運営する場合の定員について

- ☐ a. 定員を縮小する ⇒ その場合の削減数[]名
☐ b. 定員は変更なし
☐ c. 増員する

(4) 地域小規模児童養護施設が障害児施設にも制度化された場合、どのように対応しますか

- ☐ a. 分園等として設置したい ☐ b. 設置を検討する ☐ c. しない・考えていない

【用語の定義】ー地域小規模児童養護施設ー

地域小規模児童養護施設とは、本体施設の支援のもと、地域社会の民間住宅を活用して、近隣住民との適切な関係を保持しつつ、家庭的な環境の中で養護を実施することにより、入所している子どもの社会的自立を促進するもの。家庭復帰児童等を対象に、6名定員で、本体施設とは別に既存の住宅を活用して、一般家庭に類似した機能を持つ中で処遇を行う。

14 障害児施設は、児童養護施設等に比べて生活単位の小規模ケアの制度化や取り組みが遅れていますが、小規模ケアを進めるためにはどうすれば良いかお伺いいたします。(自由記述)

ご協力ありがとうございました

※実践類型が多い場合、本用紙をコピーして追加してご記入して下さい

実施類型2 グループ又はホーム・ユニット名[]

①当該グループ(ホーム)の生活単位の小規模化の開始時期	平成	年	月
②当該グループの児童定員	[]名	当該グループの現員	男[]名 女[]名
③当該グループの児童年齢の内訳	幼児[]名 小学[]名 中学[]名 高校[]名 高校卒業者[]名		
④当該グループの担当職員	合計[]名	内訳	男性[]名 女性[]名
⑤勤務の形態(該当すべてに○印を)	形態 通勤 住み込み 断続勤務 交代制 夜間 夜勤 宿直 夜勤・宿直併用		
⑥朝・夕の時間帯の勤務数	朝(7:00～9:00) []名	夕(17:00～22:00)[]名	
⑦他のグループ担当との兼務	あり・なし	⑧他のグループ担当からの応援	あり・なし
⑧建物の形態	1.大舎内ユニット型 2.一戸建て 3.集合住宅 4.二つのホームで1セット 5.その他		
⑨建物所有の状況	1.法人所有 2.賃貸(その場合家賃は月額 円)		
⑩敷地	1.本体施設と同一敷地 2.本体施設と別敷地		
⑪当該グループの対象エリアの面積	約	m ²	
⑫調理	1.各グループで調理 2.本体施設の厨房 3.両方で		
⑬食事	1.各グループで 2.本体施設の食堂 3.両方で		
⑭入浴	1.各グループで 2.本体施設の浴室 3.両方で		
⑮生活用品の購入	1.グループで購入 2.本体施設で一括購入 3.両方で		
⑯居室	個室[]室 2人部屋[]室 その他 []室		

⑰平日の体制 勤務類型(夜勤・宿直・早番・遅番等)とその勤務時間帯を⇄で示して下さい

時間	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
児童数																				
勤務類型																				

⑱休日の体制

時間	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
児童数																				
勤務類型																				